

茨城大学CNオープンセミナー特別企画 気候変動適応を通じた 地域の活性化

日時

令和4年2月28日(月)
13:30 - 17:15

会場

オンライン開催
(Zoomウェビナー)

対象

どなたでも
ご参加いただけます

開催趣旨

本シンポジウムでは、気候変動対策に関する研究や技術を紹介するとともに、それらが地域社会の中でどのように活かされているのか、活かされるべきなのかについて、最先端の研究に取り組まれている講演者からの講演やその後のパネルディスカッションで皆さんと理解を深めていきたいと思っております。

基調講演

「気候変動への対応が切り拓く社会の姿
—最近の研究が示す新しい可能性—」

三村 信男 (GLEC特命教授・茨城大学 名誉教授)



講演



「低緯度太平洋でカーボンニュートラルを目指す
—低緯度太平洋メガソーラー帆走筏構想と成立性—」

國生 剛治 (中央大学 名誉教授)



「気候変動対応社会の構築に資する科学的知見の社会実装」

馬場 健司 (東京都市大学 教授)



「ESG経営の意義～取組み事例の紹介～」

赤岩 正樹 (茨城大学 特命教授)

パネルディスカッション

「気候変動対応を通じた地域の活性化
—グリーントランスフォーメーション (GX) の社会実装を考える—」

お申し込み

事前に以下の申込みフォーム又は右記QRコードよりお願いいたします。(1000名に達し次第締切)
https://zoom.us/webinar/register/WN_EVDR4dYQS22Y4uf99hwW4A

セミナー申し込みフォーム



(主催) 茨城大学、茨城県地域気候変動適応センター、(一社) 地域国土強靱化研究所

(共催) 地盤工学会関東支部

(後援) 国立環境研究所適応センター、国土交通省常陸河川国道事務所、茨城県、水戸市、土木学会関東支部茨城会、(一社) 茨城県建設コンサルタンツ協会、日刊建設工業新聞社

(お問い合わせ) 特別企画シンポジウム事務局

<https://events.admb.ibaraki.ac.jp/2022/20000688.html>

TEL: 029-228-8800 E-mail: ilccac@ml.ibaraki.ac.jp

※今回の連続講演会は、土木学会と地盤工学会のCPDポイント付与の対象予定です。詳しくは、共催団体(一社) 地域国土強靱化研究所(LRRI) HP (<https://lrri.or.jp/>) をご参照下さい。

茨城大学 CN オープンセミナー特別企画シンポジウム
気候変動適応を通じた地域の活性化
プログラム

令和4年2月28日

13:20	会場(Webinar)オープン
13:30	開会案内: 総合司会 石川 由紀 (茨城大学 助教)
13:35	開会挨拶: 太田 寛行 (茨城大学学長) 向井 人史 (国立環境研究所 気候変動適応センター センター長) 松崎 達人 (茨城県 県民生活環境部 次長)
13:50	基調講演: 気候変動への対応が切り拓く社会の姿 ~最近の研究が示す新しい可能性~ 三村 信男 (GLEC 特命教授・茨城大学 名誉教授)
14:30	講演1: 低緯度太平洋帆走メガソーラー筏構想 國生 剛治 (中央大学 名誉教授)
14:55	講演2: 気候変動対応社会の構築に資する科学的知見の社会実装 馬場 健司 (東京都市大学 教授)
15:20	講演3: ESG 経営の意義 ~取り組み事例の紹介~ 赤岩 正樹 (茨城大学 特命教授)
15:45	休憩
15:55	パネルディスカッション: 気候変動対応を通じた地域の活性化 ~グリーンTRANSフォーメーション(GX)の社会実装を考える~ モデレータ: 蓮井 誠一郎 (茨城大学地球地域環境共創機構 機構長) パネリスト: 横木 裕宗 (茨城県地域気候変動適応センター センター長) 安原 一哉 ((一社)地域国土強靱化研究所 代表理事) 三村 信男 (GLEC 特命教授・茨城大学 名誉教授) 國生 剛治 (中央大学 名誉教授) 馬場 健司 (東京都市大学 教授) 赤岩 正樹 (茨城大学 特命教授)
17:05	閉会の挨拶 金野 満 (茨城大学副学長)
17:10	閉会の案内
17:15	閉幕